

2014年12月02日

「第8回UEC杯コンピュータ囲碁大会」企画書

日程：2015年3月14日（土）予選（変形スイス式による16プログラム選抜）
15日（日）決勝（トーナメントによる順位戦） 午後より大盤解説

場所：電気通信大学 西9号館3階AVホール（メイン会場）
（調布市調布ヶ丘1-5-1、京王線調布駅より徒歩10分程度）
URL: www.uec.ac.jp/about/profile/access/

概要：国内外から、多数のプログラムが参加する大きな大会へと成長している。大会は2日間開催され、国際的に見ても、最大規模のコンピュータ囲碁の大会になっている。以下の協賛、後援をいただいて毎年開催されている。

協賛：株式会社 囲碁将棋チャンネル
後援：公益財団法人 日本棋院、一般社団法人 人工知能学会
協力：コンピュータ囲碁フォーラム
主催：電気通信大学エンターテイメントと認知科学研究ステーション
URL: <http://entcog.c.ooco.jp/entcog/>

背景：日本棋院、コンピュータ囲碁フォーラム、岐阜県などが主催となって開催されてきた「岐阜チャレンジ」が、2006年を最後に終了したこの年、モンテカルロアプローチという一つの大きなブレイクスルーが現れた。国内でなんとか大会を開きたいという要望を受け、電気通信大学のエンターテイメントと認知科学研究ステーションが中心となって、2006年からUEC杯コンピュータ囲碁大会を始めることとした。その後、ほぼ毎年開催されている。

目的：ゲームを題材とした研究の歴史を振り返ると、チェスを題材にして、人工知能、認知科学、探索、パターン認識、データマイニング、最適化技術等々、実に様々な分野の研究が活性化したという歴史がある。世界に広く普及した思考ゲームの中で最も探索空間の広い囲碁は、コンピュータにとって最も難しい課題であると言われている。技術を競い合う場を設けることで、当該の分野の技術の発展を促すとともに、コンピュータ囲碁の棋力を図る場として機能することを目的とする。

また、本大会では、開発者の少なくとも一人が現地に来ることを必須としており、学術的、技術的交流のある大会にしていきたいと考えている。近年通信によるネット大会も増えている中、敢えて開発者が一同に会して、互いのプログラムについて技術的に交流できる場としても貴重な場となることも期待している。

運営：エンターテイメントと認知科学研究ステーション参画者を中心とした運営委員と、電気通信大学の学生によるボランティアスタッフにより運営されている。第7回大会より、協賛企業が入り、上位入賞者には、賞金を出すこととなった。第7回は、優勝20万円、準優勝10万円、第3位5万円の予定。なお、参加費は無料。

大会HP：<http://jsb.cs.uec.ac.jp/~igo/>

<大会の特色>

決勝がトーナメントによる1発勝負の対戦で、スリリングな展開が楽しめ、決勝に近づくほど好カードが期待できる。

<過去の大会と結果>

回	開催日	参加 (海外)	優勝	準優勝	第3位
第1回	2007年12月1,2日	28(2)	Crazy Stone (仏) Remi Coulomn	勝也 (日) 清 慎一	MoGo (仏) Sylvain Gelly
第2回	2008年12月13,14日	24(4)	Crazy Stone (仏) Remi Coulomn	不動碁 (日) 加藤英樹	Many Faces of Go (米) David Fotland
第3回	2009年11月28,29日	28(4)	KCC 囲碁 (朝) ChoSangHyon	勝也 (日) 清 慎一	Zen (日) Team Zen
第4回	2010年11月27,28日	28(5)	Fuego (加) Richard Segal	Zen (日) Team DeepZen	Erica (台) Shih-Chieh Huang
第5回	2011年12月3,4日	24(4)	Zen(日) Team DeepZen	Erica (台) Shih-Chieh Huang	Aya (日) 山下 宏
第6回	2013年3月16,17日	22(4)	Crazy Stone (仏) Rémi Coulom	Zen(日) Team DeepZen	Aya (日) 山下 宏
第7回	2014年3月15,16日	16(3)	Zen (日) Team DeepZen	Crazy Stone(仏) Rémi Coulom	Aya (日) 山下 宏

<参考：エキシビジョンマッチの記録>

- 第1回 佐川央 (電通大囲碁部・アマ5段) vs Crazy Stone (互先) … (佐川君の勝ち)
- 第2回 青葉 かおり 四段 vs Crazy Stone (7子) … (Crazy Stone の勝ち)
- 第3回 青葉 かおり 四段 vs Crazy Stone (6子) … (青葉四段の勝ち)
- 鄭 銘コウ 九段 vs KCC 囲碁 (6子) … (鄭九段の勝ち)
- 第4回 青葉 かおり 四段 vs Zen (6子) … (Zen の勝ち)
- 鄭 銘コウ 九段 vs Fuego (6子) … (鄭九段の勝ち)
- 第5回 小林 千寿 五段 vs Erica (6子) … (小林五段の勝ち)
- 鄭 銘コウ 九段 vs Zen (6子) … (Zen の勝ち)
- 第6回 多賀 文吾 (アマトップクラス) vs Crazy Stone (互先) … (多賀さんの勝ち)
- 第7回 田中義国 (電通大囲碁部) vs Zen (互先) … (Zen の勝ち)
- 第8回 ※電通大囲碁部 OB の中から最強レベルのプレイヤーに依頼中。

「第3回電聖戦」企画書

日程：2015年3月17日（火）13:00～

場所：電気通信大学 西9号館 3階：対局会場、関係者控室
1階大講義室：解説会場

概要：2012年6月に締結した日本棋院と電気通信大学の提携に基づいた、日本棋院棋士とコンピュータ囲碁による置碁の定期戦。UEC杯コンピュータ囲碁大会で上位になったプログラムと日本棋院が推薦する棋士により、対戦が行われる。第3回電聖戦のハンデは、UEC杯の結果を見て、3月16日に主催者が確定し公表する。

協賛：株式会社 囲碁将棋チャンネル

後援：公益財団法人 日本棋院、一般社団法人 人工知能学会

協力：コンピュータ囲碁フォーラム

主催：電気通信大学エンターテインメントと認知科学研究ステーション

URL: <http://entcog.c.uoc.ac.jp/entcog/densei/>

※この模様は、囲碁・将棋チャンネルと竜星囲碁チャンネルで生放送する予定です。

対戦棋士：25世本因坊治勲（趙 治勲 九段）

解説棋士：依田 紀基 九段

聞き手棋士：吉原 由香里 六段

目的：コンピュータ囲碁の進歩を測る上で、適切なハンデで棋士を対戦相手に行う定期戦は定観測の意味でも非常に重要な意味を持つ対戦であると考えられる。コンピュータ囲碁の経年進化の歴史を記録する目的がある。

<過去の大会>

回	開催日	対戦棋士	対戦コンピュータ (作者・チーム)	手合い	勝敗
プレマッチ	2012年3月17日	武宮正樹九段	Zen (Team Deep Zen)	5子	Zen 10点勝ち
		武宮正樹九段	Zen (Team Deep Zen)	5子	Zen 19点勝ち
第1回	2013年3月20日	石田芳夫九段 (24世本因坊秀芳)	Zen (Team DeepZen)	4子	石田九段 中押し勝ち
		石田芳夫九段 (24世本因坊秀芳)	Crazy Stone (Rémi Coulom)	4子	Crazy Stone 3目勝ち
第2回	2014年3月21日	依田紀基九段	Crazy Stone (Rémi Coulom)	4子	Crazy Stone 2目半勝ち
		依田紀基九段	Zen (Team DeepZen)	4子	依田九段 中押し勝ち

運営：エンターテインメントと認知科学研究ステーション参画者を中心とした運営委員と、電気通信大学の学生によるボランティアスタッフにより運営されている。昨年からは、囲碁将棋チャンネルから協賛企業として資金面のご支援をいただいている。

賞金：対戦ごとに、勝利者に賞金が授与される。

第1局：(対準優勝プログラム) 10万円、第2局：(対優勝プログラム) 20万円

※別途、対戦棋士には2局分の対局料として30万円が用意されている。